

DERWENT-ACC-NO: 2002-052150

DERWENT-WEEK: 200207

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Electrical brand printing device for
foodstuffs, has several U-shaped tubular heaters distributed
housing with hand gripper, which are clamped with scorching
seal

PATENT-ASSIGNEE: SOFTECH KK [SOFTN]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0161065 (April 24, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2001301390 A	October 31, 2001	N/A
003 B44B 007/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2001301390A	N/A	2000JP-0161065
April 24, 2000		

INT-CL (IPC): B44B007/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001301390A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Several U-shaped tubular heaters (3) are distributed perpendicularly, in the lower portion of main housing (1) of brand printing device with a hand gripper (2). A scorching seal (6) is fixedly clamped, ranging over the end of the U-shaped tubular heater.

USE - For printing brands such as name and a mark on the surface of the foodstuffs e.g. steak, chitin, a sliced fish, etc.

Steak
fish

ADVANTAGE - Since the U-shaped tubular heaters are distributed perpendicularly in the lower portion of the main housing of brand printing device with a hand gripper, electricity supply on electrical resistance line is uniform for efficient heating and hence improves baking process and flavor.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the entire perspective view of the electrical brand printing device.

Main housing 1

Hand gripper 2

U-shaped tubular heaters 3

Scorching seal 6

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/2

TITLE-TERMS: ELECTRIC BRAND PRINT DEVICE FOOD SHAPE TUBE HEATER
DISTRIBUTE

PERPENDICULAR LOWER PORTION MAIN HOUSING HAND GRIP CLAMP
SCORCH
SEAL

DERWENT-CLASS: P78 X25

EPI-CODES: X25-P01X;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-038587

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-301390

(P2001-301390A)

(43)公開日 平成13年10月31日 (2001.10.31)

(51)Int.Cl.⁷

B 44 B 7/00

識別記号

F I

マークド^{*}(参考)

B 44 B 7/00

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全3頁)

(21)出願番号

特願2000-161065(P2000-161065)

(22)出願日

平成12年4月24日 (2000.4.24)

(71)出願人 595139428

株式会社ソフテック

東京都練馬区関町北一丁目23番10号

(72)発明者 堤 義明

東京都練馬区関町北一丁目23番10号 株式
会社ソフテック内

(72)発明者 加藤 厚

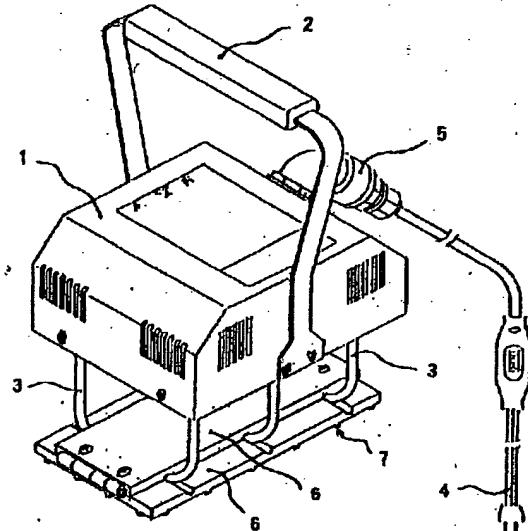
東京都練馬区関町北一丁目23番10号 株式
会社ソフテック内

(54)【発明の名称】 電気式焼印器

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 食品類の表面に容易にかつ連続的に焼き目模様を付すことにある。

【解決手段】 主にステーキ、チキン、魚の切り身などを対象とする食料品の表面に線帯状の網目などの焼き付け模様をほどこす焼印器に関し、握り手を有する焼印器本体の下部にU字型管状ヒーターを複数本を並列に配し、該複数本のU字型管状ヒーター先端にわたって脱着自在な焼印刃を挿持固定することより構成された電気式焼印器。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 握り手を有する本体の下部にU字型管状ヒーターを垂直に複数本配し、該複数本のU字型管状ヒーターの先端にまたがって焼印判が挟持固定されてなる電気式焼印器。

【請求項2】 被焼物体に接する焼印判の焼印面が、凹凸からなる図柄あるいは文字などで施されている模様付き焼印面であることを特徴とする請求項1記載の電気式焼印器。

【請求項3】 焼印判がU字型管状ヒーターの先端に水平かつ脱着自在に挟持固定されてなることを特徴とする請求項1から2記載の電気式焼印器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は主にステーキ、キチン、魚の切り身などを対象とする食品類の表面に線帶状の網目などの焼き付け模様をほどこす焼印器に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えば蒲鉾やはんぺんなどの表面に名称やマークなどの焼き印を押す場合に使用する焼ごておよびこの種の焼印器は、印字部を石炭、石油、ガスバーナなどで外部から所定温度まで加熱して使用する方法が古くから用いられているが、この方法は熱源の損失が大きく、また印字部の表面が過剰高温度になることから当該部分の損耗が激しいうえ、連続的な焼印作業が困難で、能率を阻害しかつ作業環境を悪化するなどの欠点があった。

【0003】 一方、電気でヒーター部分を加熱してその熱伝導を介して近傍の印字部を加熱する装置が開発されているが、この印字部の温度を高温に保つには、それ以上の温度でヒーター部を上昇させる耐久寿命を無視した異常高温のヒーター部を作成する以外なく、実用上コストの高いものであった。また、この電気方式の焼印器は、屋号やワンポイントマークなどの小さな焼き目模様用であって、印字面積が小さく印字部を広げるには均一な熱源を保持するうえから限界があった。

【0004】

【課題が解決しようとする手段】 本発明は、これらの上記の欠点に鑑みて、被焼物体の広い表面におよんで効率良く焼き目模様を付すことができる電気式焼印器を提供する。

【0005】 上記目的を達成するための本発明の構成を一実施例に対応する図面に基づいて説明すると、図1は本発明品の全体斜視図であり、図2は本発明品の使用例を示す説明図である。この図1、2で明らかな通り、握り手2を有する電気式焼印器本体（以下本体ともいう）1の下部にU字型管状ヒーター3を垂直に複数本並列に配する。そして該U字型管状ヒーター先端の複数本にまたがって、焼印判6が水平に脱着自在な構造で挟持固定させてある。この焼印判6は被焼物体8に接する焼印面

7に凹凸からなる図柄あるいは文字などが施されている模様付き焼印判であって、電源コード4および電源コード固定金具5を介し外部からの通電により生じた熱によって、焼印面7が被焼物体8の表面に焼き目模様を焼印する電気式焼印器である。

【0006】 本発明品の使用操作は、図2で理解できるとおり、本体1の握り手2をにぎって持ち上げ、ステーキなどの被焼物体8の表面に焼印判6の焼印面7を押し当てるといった単純な操作の繰り返しでよい。

【0007】 以上の構造にて成る本発明品の作用効果を列記すると、通電により複数本のU字型管状ヒーター3の電気抵抗線を加熱することで、電気抵抗線の熱がただちにU字型管ヒーターの先端を介し、複数本のU字型管状ヒーター3にまたがって挟持固定される焼印判6に熱伝達できるものである。

【0008】 これによって明らかであるように、複数のU字型管ヒーター3から発せられる熱源でもって、焼印判6を迅速かつ均一に効率よく加熱できる結果、大きな焼印面7の焼印判6でも均一な温度分布での高温維持が容易になる。従って、被焼物体8の広い範囲にわたって、均一な温度で焼印・炭化することができるので、大きな焼き付け模様をほどこすことが可能となり、商品価値の高い焼印を効率よく行えるなど実用的效果を抜群にするものである。さらに、焼印判6は、焼印面7の凹凸模様を基盤の目、菱形、波形など色々工夫した焼印判6に交換することにより、巾ひろい焼き目模様を選択・構成することができる。

【0009】

【発明の効果】 本発明は、本体の下部に複数本のU字型管状ヒーターを構成したことにより、電気抵抗線に通電するだけでもって、複数本のU字型管状ヒーターの先端にまたがって挟持固定された大きな焼印判が均一にしてかつ迅速に効率よく加熱され、大きな焼印面積であっても高温保持が可能となる。従って、被焼物体の面に容易に大きな焼き目模様を施すことができ、焼成処理した後の食品の見栄えが向上しそして焼成フレーバーが風味を一層向上させ食欲をそそるものとなる。

【図面の簡単な説明】

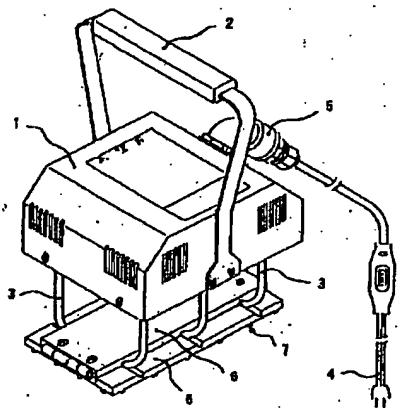
【図1】 本発明品の全体説明斜視図である。

【図2】 本発明品の使用例を示すものである。

【符号の説明】

- 1…本体
- 2…握り手
- 3…U字型管状ヒーター
- 4…電源コード
- 5…電源コード固定金具
- 6…焼印判
- 7…焼印面
- 8…被焼物体

【図1】



【図2】

